

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されており。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名まで2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	基準配置以上の職員数は確保できておりますが、現時点で女性職員がおりません。児童の特性・年齢を考慮し、男性職員の配置に努めてまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		児童に分かりやすいよう、マークや文字を用いた視覚的に分かりやすい環境づくりに配慮してあります。また、室内はフルフラットな作りになっており安全に移動できる環境になっております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日の掃除・消毒は欠かさず、定期的に換気もおこなっております。生活空間・療育スペース・休憩スペースを分けることで児童が活動に切り替えられるようになっています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2	空調等の関係上、現在個室での対応が難しくなっております。児童の状況に応じて、パーテーションの使用や他の児童がいない、または少ない部屋での対応をおこなっております。	個室の整備やその代わりに空間の常設的な確保に努めてまいります。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	6		月に1回フレクシオン会議を実施し、振り返りをおこないながら業務の改善に努めております。当日参加できなかった職員にも内容を伝え、情報共有と認識の統一に努めております。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		年に1度、保護者様にアンケートを依頼し、いただいたご意見を職員間で協議・検討し、改善策を話し合っております。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		事業所内で定期的に朝礼や意見交換の場を設け、日々業務改善に向けて話し合っております。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		事業所内にて、本社配信の動画を活用した社内研修に全員が参加し、資質向上に努めております。また、月に1回程度事業所内で必要に応じた研修を企画し、実施しております。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		公式Webサイトにて公表しております。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		より良い支援のために、定期的なアセスメントをおこない、保護者様から状況や意見・ご要望をおうかがいし、支援計画に活かしております。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		計画作成にあたり、全職員で保護者様のご意向や願いを共有し、児童により良い支援がおこなえるよう個別支援会議を実施したうえで、児童発達支援管理責任者が計画を作成しております。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		支援計画の内容を全職員に周知し、共通理解を持ったうえで、日々の支援をおこなっております。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		社内で統一されたアセスメントシートを用いた定期的なアセスメントに加えて、日々の療育の中での気づき等は、標準化されたツールを用いて全職員が入力・記入できるようにしております。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		放課後等デイサービスガイドラインを遵守し、計画の立案や内容について、適用期間の定めにかかわらず、必要に応じて見直しをおこない、1人ひとりに合った具体的な支援内容を設定できるよう取り組んでおります。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		プログラムについては、全職員で意見を出し合いながら定期的に立案しております。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		児童の発達に応じて個別または小集団での活動を考え、状況に合わせて活動プログラムの改善・工夫をおこなっております。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		児童一人ひとりに合わせた個別支援を中心に実施しておりますが、児童の状況に応じて様々な課題を勘案し、2〜3名程度の少人数での活動や10名程度の小集団活動も組み合わせしております。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		支援開始前に朝礼をおこない、その日の利用児童の情報や役割分担の確認をおこなっております。必要に応じて、その日の支援内容や児童の課題、気づきなどを相談し、情報共有をおこなっております。	
	21 支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		支援終了後、早期に対応が必要な事項については、担当職員が管理者や児童発達支援管理責任者に報告し、対応に努めております。その他の児童の状況や気づきなどは翌日の朝礼にて、情報共有をおこなっております。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		経過記録を記入し、振り返りをおこない、次の支援に活かせるよう努めております。経過記録には、できたことだけでなく、苦手なことや課題も記録し、改善につなげられるよう取り組んでおります。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		少なくとも6ヶ月に1回はモニタリングを実施し、支援計画の見直しをおこなっております。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援をおこなっております。	「4つの基本活動」のうち、「地域交流の機会の提供」については、実施の機会を得られていないため、改善に努めてまいります。
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力を育てるための支援を行っているか。	6		児童の状況に応じて、視覚支援や選択肢の設定を取り入れ、自己決定する力を育てております。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	6		サービス担当者会議には、可能な限り児童発達支援管理責任者と直接支援に当たっている職員が複数名で参加し、関係機関との連携が円滑にとれるよう努めております。	
	27 地域の保健、医療（主治医や医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		必要に応じて、学校や地域の保健師、相談支援員、医療機関と連携し、支援が必要な児童が適切な支援を受けられる体制づくりに努めております。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		児童のその日の様子や学校の下校時刻の変更等について、送迎時や電話等で学校の先生と共有・確認しております。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	就学前からCOMPASSの児童発達支援事業所を利用している児童については、スムーズな情報共有ができております。	小学校高学年以上の児童が大半を占めており、就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園との直接的な連携は図れておりませんが、保護者様から当時の状況等の聞き取りをおこなっております。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		現時点では対象となる児童はおりませんが、その時期に適切な対応ができるよう、情報の整理に努めてまいります。	今後とも関係機関と連携し、支援内容等の情報共有と相互理解を連携してまいります。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイスや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2	普通寺市COMPASS児童発達支援センターや中讃地区COMPASS児童発達支援センターをはじめとした専門機関から、必要に応じてスーパーバイスや助言を受けております。	昨年度は、地域の他事業所主催の研修会に参加しましたが、今年度研修会への参加には至っておりません。地域の事業所とも連携を図りながら今後とも自己研鑽に努めてまいります。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6		今年度も、交流機会を企画することはできませんでした。+F38-F43	保護者様のご意向を考慮しながら、地域との連携や交流を検討してまいります。
	33 (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	年に2回程度開催されている地域の児童発達支援・放課後等デイサービスの情報交換会に参加しております。	今年度、1回目の開催においては参加ができておりませんが、次回の情報交換会の参加に努めてまいります。
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡帳を通じて事業所内での様子をお伝えし、送迎時には家庭や学校での様子をお伺いし、情報交換と共通理解に努めております。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）や家族が参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	困りごとに対して、適宜アドバイスを行っております。	家族等の参加できる研修の機会の提供はおこなっておりませんが、地域からの相談内容に応じて、家族支援プログラムや家族等が参加できる研修の機会や情報提供等に努めてまいります。
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時や保護者様からの質問があった際には、保護者様に分かりやすいよう説明をおこない、確認しながら進めております。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、こどもや保護者の意向を確認する機会を設けているか。	6		アセスメントの際には保護者様の願いや意向をおうかがいし、本人の意思を尊重したうえで、最善の計画が立てられるよう支援してあります。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行っているか。	6		計画作成時には、保護者様の専門用語を使わず、伝わりやすい言葉で説明し、同意を得ております。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言や支援を行っているか。	6		保護者様からの相談内容に応じて、様々なキャリアの職員が、現場に必要な支援について考え、解決を目指しております。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		昨年度、支援学校に入学予定の児童の保護者様を対象に、現在在学中の児童の保護者様との交流の機会を設定いたしました。今年度の開催はできておりません。	保護者様のご意向に応えるべく、保護者様同士からの相談内容に応じて、地域と直接の連携を図る交流ができるよう努めてまいります。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		保護者様からいただいたご意見には、迅速かつ丁寧に対応し、事業所内で周知に努め、対応の徹底を心がけております。	
	42 定期的に連絡を発信することや、HPやSNS等を活用することや保護者、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に適切に発信しているか。	6		定期的に「COMPASSだよ」を発行しております。また、事業所でのカレンダーの裏面（9月からは連絡帳アプリ）に「事業所だよ」として、療育や遊び、行事の様子を載せております。また、YouTubeや公式Webサイトのブログで、事業所の活動内容をご紹介しております。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書櫃にて厳重に保管しております。	
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		児童には、発達や特性に合わせた伝達方法を用いております。また、保護者様にも連絡帳などの文章で確認していただくとともに、口頭でも専門用語を避け、丁寧な情報伝達をおこなっております。	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	行事に地域の力を招待する企画には至りませんでした。ボランタリーの方にご協力いただいた音楽会の開催がありました。	保護者様のご意向をおうかがいしたうえで、地域住民が参加する行事の実施を検討してまいります。
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各種マニュアルを策定し、玄関に提示しております。防災活動や感染症対策など、さまざまな事態を想定し、訓練を実施しております。	
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、各種避難訓練計画を年間で計画・実施し、振り返りをおこなう中で改善点や注意点を確認しております。	
	48 事前に、感染予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認しているか。	6		アセスメントの際には、児童発達支援管理責任者が責任を持ち、保護者様へ十分に確認を行っております。	
	49 食物アレルギーのあるこどもについても、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	アレルギーについては、アセスメントの際には保護者様から聞き取りをおこない、全職員へ周知を徹底しております。また、重度のアレルギーの児童へのおやつ等の提供については保護者様へその都度確認を行っております。	保護者様を通じての情報共有は行っていますが、主治医と直接的な連携は至っておりません。今後、必要に応じて連携を図れるよう努めてまいります。
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成し、それに基づいて研修や訓練の実施しております。	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		避難経路や避難場所について、おたよりを保護者様に配布し、説明を行っております。	
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	6		ヒヤリハットについては、報告書を作成し、全職員で共有しながら再発防止に努めております。	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		年間計画に基づき、社内で作成された研修資料を使用して虐待防止研修を実施しております。また、事例検討を通じて知識を深め、再確認を行っております。	
54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		生命または身体を保護するために、やむを得ず身体拘束をおこなう可能性がある場合には、支援計画に記載し、保護者様の同意を得ております。		